

様式 1

【社会・小5・「工業生産を支える輸送と貿易」】①

育成を目指す資質・能力

- (知・技) 外国との原材料の確保などについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、貿易や運輸の様子を理解する。
- (思・判・表) 交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、問いを見いだし、貿易や運輸の様子について考えを表現する。
- (学びに向かう力等) 工業生産における貿易や運輸について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

ICT活用のポイント

個人の考えや調べたことを可視化し、視覚的共有を行うことで、表現する力の向上を目指した授業

【つかむ】

事前アンケート結果や実物を見て日本の輸入について興味をもつ

輸入についての資料を調べ、日本の輸入の特色を明らかにしよう。

【追究する】

資料より輸入相手国や輸入品の特色や変化について多面的に考察し、表現する。

【まとめる】

輸入の特色について、読み取ったり調べたりした情報を学級全体で共有し、個人で再考し、表現する。

事例におけるICT活用の場面①

- 事前アンケートの回答を「テキストマイニング」により可視化し、本時に対する興味・関心を引き出す。

事例におけるICT活用の場面②

- 輸入に関する資料から読み取り、分かったことを画面共用した「表計算ソフト」に記入する。
- 「表計算ソフト」上の全員の考えを「テキストマイニング」により、可視化する。
- 可視化された情報を基に、個人・グループで考察し、特色をまとめる。

【社会・小5・「工業生産を支える輸送と貿易」】②

【事例におけるICT活用の場面①】



- 事前にテキストマイニングを行い可視化しておくことで、提示する時間を短縮する。
- 可視化したアンケートを提示する場面では、児童がより関心を高められるようにするために、実物と合わせて提示する。
- 大型提示装置だけでなく、各児童のICT端末に送り、見やすくする。
- 児童は、自分の回答したこととクラス全体の意見を一目で確認ができ、学習に対する興味関心をもつことができる。

【事例におけるICT活用の場面②】

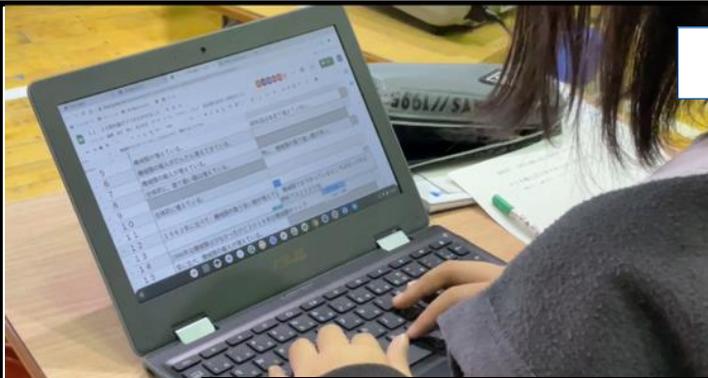


写真1

- 資料を読み取る時間は十分に確保する。
- クラス全体に画面共有された表計算ソフトに、児童は資料より収集した情報をまとめていく。表計算ソフトに入力していくため、複数入力する場合でも、列を変えていくつでも入力することができる。【写真1】
- 他者の考えや意見を確認しながら入力することができる。
- 入力された全体の意見や考えを、その場で教師がテキストマイニングを行い、一瞬で可視化された全体像や特徴を捉えることができる。【写真2】

【活用したソフトや機能】

- ・表計算ソフト
- ・テキストマイニング
- ・学習支援ソフト

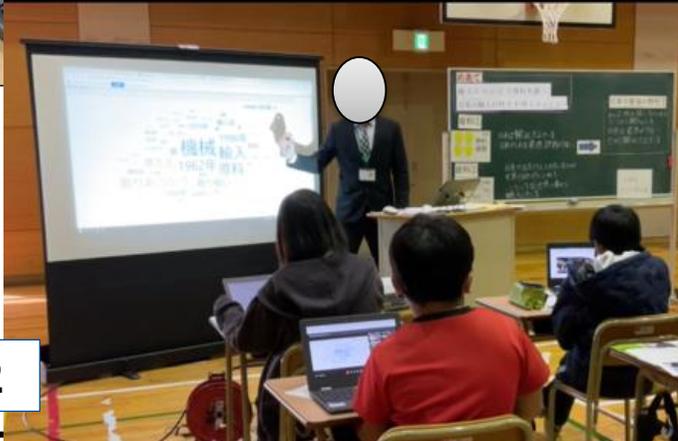


写真2

可視化されたキーワードや学級の意見を使い、日本の輸入の特色をまとめていく。【写真3】

写真3

